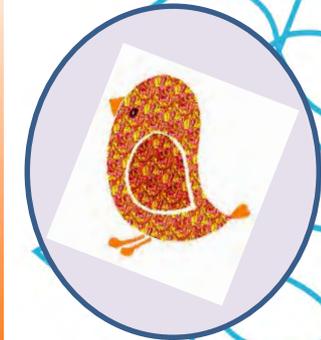
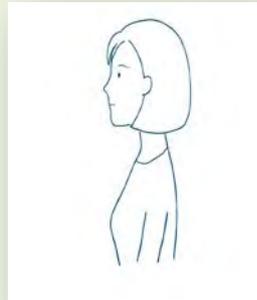
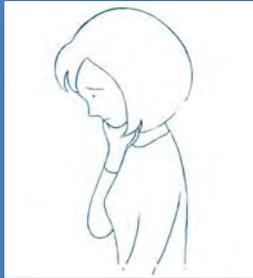


DV等の被害者のための民間シェルター等に対する支援
の在り方に関する検討会 第2回
2019・3・12

民間シェルター/ステップハウスの課題と提案
NPO法人女性ネットSaya-Sayaの活動から





目次

- Saya-Sayaの概要・沿革・組織
- ステップハウス・シェルターの活動
- 活動から見えた課題
- 今後に向けての提案



Sayaは、「わたし」

わたしは、もう一人の「わたし」と、**つながり**をもったとき、**生きる**ことが出来る。

自分や、まわりの人との「**つながり**」を取り戻し、私たちの人生の**再構築**を目的とした女性たちのネットです。

★団体紹介・事業概要・組織図・受益者数別紙参照



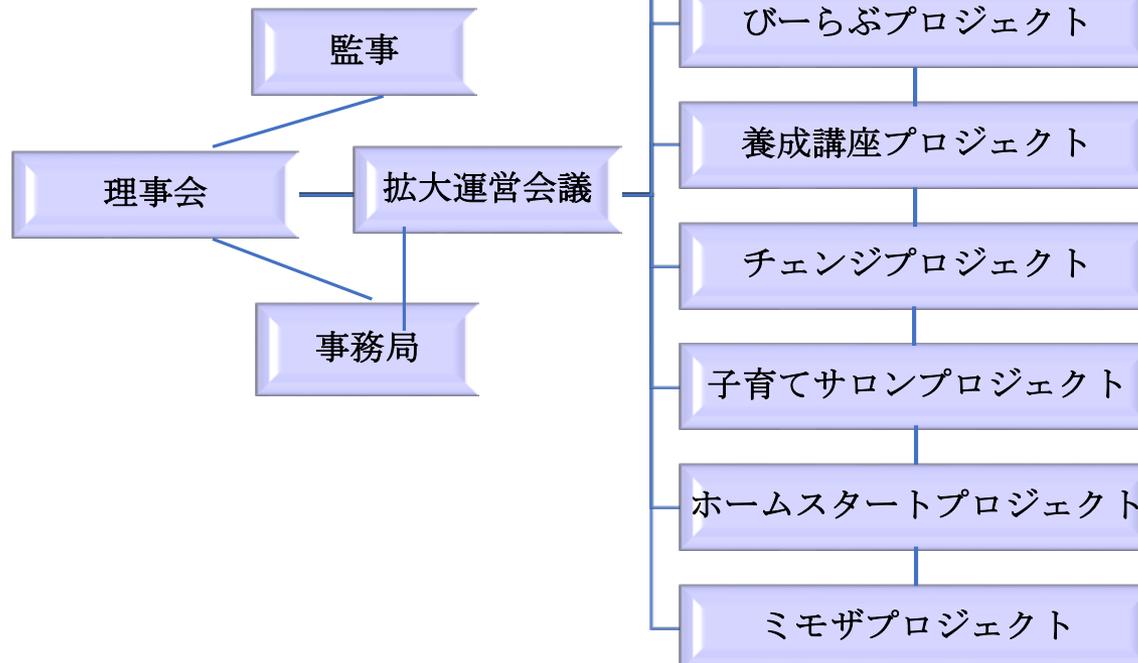
Saya-Sayaのミツバユ

● コンセプト

暴力・差別のない社会は、
「女性が安心して暮らせる、子どもにも男性にも
生きやすい社会」です。

私たちは、**地域の中**で暴力被害女性たちと子
どもへの支援をすることが、暴力と差別のない、
「女性と男性・人と自然」が共生する社会につな
がると考え、支援のネットワークを広げていくこ
とに貢献します。

組 織 図

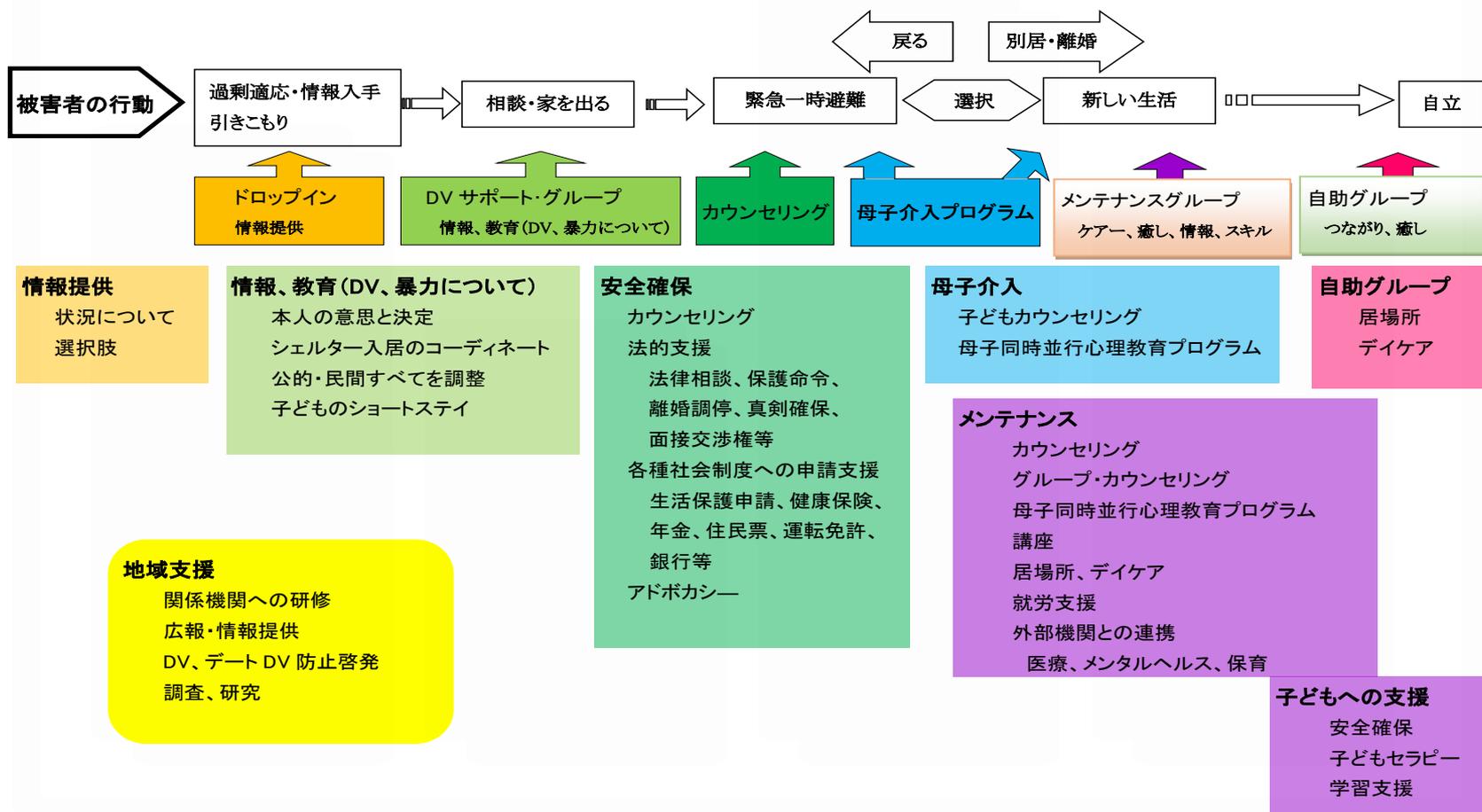




DV被害者への切れ目のない支援

当事者こそ専門家「DV被害者から支援者に！」

◆被害者支援の体系図◆





ステップハウス&シェルターユニット

- ◎ カウンセリング
- ◎ びーらぶ「母と子どもの同時並行心理教育プログラム」
- ◎ 法的支援
- ◎ 女性の自立支援プログラム「燦SUN」
- ◎ 子どもセラピー、プログラム
- ◎ アドボケート（同行支援）



DV被害女性とその子どもの 社会的包摂支援としての ステップハウス事業イメージ図

安全な場所の提供
＜居場所＞

カウンセリング
サポートグループ

母子心理教育
プログラム
「びーらぶ」

自立支援
プログラム燦SUN

本人の意思決定のサポート
ステップハウス入居のコーディネート
公的支援・民間支援のすべてを調整
医療機関、女性センターなど

安心安全で、排除しない
地域社会の構築

法的支援：法律相談、保護命令、
離婚調停、親権など
各種社会制度への申請支援：
年金、住民票、生活保護申請、
健康保険など

だいじな私
健全な母子
関係の構築

教育機関への啓蒙
暴力防止教育（教師・生徒へ）
デートDV防止教育
子ども家庭支援センター
との連携



入居経緯

- Saya-Sayaのカウンセリング、電話相談から
- 行政の婦人相談員から
 - ・行政の緊急一時保護の出先として
 - ・緊急一時保護→宿泊提供施設→ステップハウス
- インターネット経由の問い合わせ
 - 電話相談→入居面接→入居
- ライン相談から
- 弁護士・警察・教会・議員・医師などの紹介
- 行政委託事業のステップハウス(千葉市)
- 他の民間団体からの紹介
- Saya-Sayaのメンバーからの紹介など





入居者について

- DV被害、性暴力被害にあった女性とその子どもたち
モラルハラスメントも可・親、兄弟からの避難も可
- ペットを連れてても可
犬、猫、小鳥、珍しい動物・・・
- 高学年以上の男児も可、
高校生、中学生・・・
- 着の身着のままでの入居も可
ウエルカムセット
洗面器・歯ブラシ・シャンプー・タオル・寝間着あり
ふとん、衣類、家具、テレビ、台所用品などの設備あり
- 車を持ってきてもOK
- 仮名を使用する





花言葉
優雅な女性



安全・安心の生活を守るために！

- 加害者への連絡はしないようにしましょう。
- 今後の生活や諸手続き、就労や住宅等については、安全を最優先に考え、スタッフの情報提供を受けながら進めていきましょう
- 安全が確保できるまでは、住民票の移動を行わない方法もあります
- 子どもの就学の手続きの際、学校等に DV の事情を説明し、子どもの安全に配慮してもらうことができます（仮名での登校など）
- これまでの健康保険証を使用しないで、新たな保険証を作成できるように手続きを進めましょう
- 新しい生活になれるために、カウンセリングや同じような体験をした仲間たち（自助グループなど）とつながりましょう



花言葉
嬉しい仲り



ステップハウス 利用者のてびき

NPO法人 女性ネット Saya-Saya





花言葉
あなたを待っています



ステップハウスへようこそいらっしゃいました。

今日から共に暮らすご縁を大切にしたいと思います。
どうぞよろしくお願いいたします。

皆さまには、ここでの生活時間を気持ちよく過ごして欲しいと願っています。また、安全な環境の中で力を蓄え、この恵みを十分に味わっていただけたら、大変嬉しく思います。

そのために、お互いの心にとめていただきたいことがありますので、お伝えいたします。

- ご自分の進退に関わる事柄について、安易に他の入居者に話さないこと。
- ご自分の話しを、他の入居者に話されるのは自由ですが、こちらからは質問しないこと。
- 質問や手助けを求められたときには、誠意を持ってお答えしますが、先走りはしないこと。

これらのことは、自分のペースを守ると同時に、相手のペースを尊重することでもあります。程良くお互いの距離を保ちながら、気持ちの良い生活をしましょう。

コーディネーターより



ステップハウス利用のお約束ごと

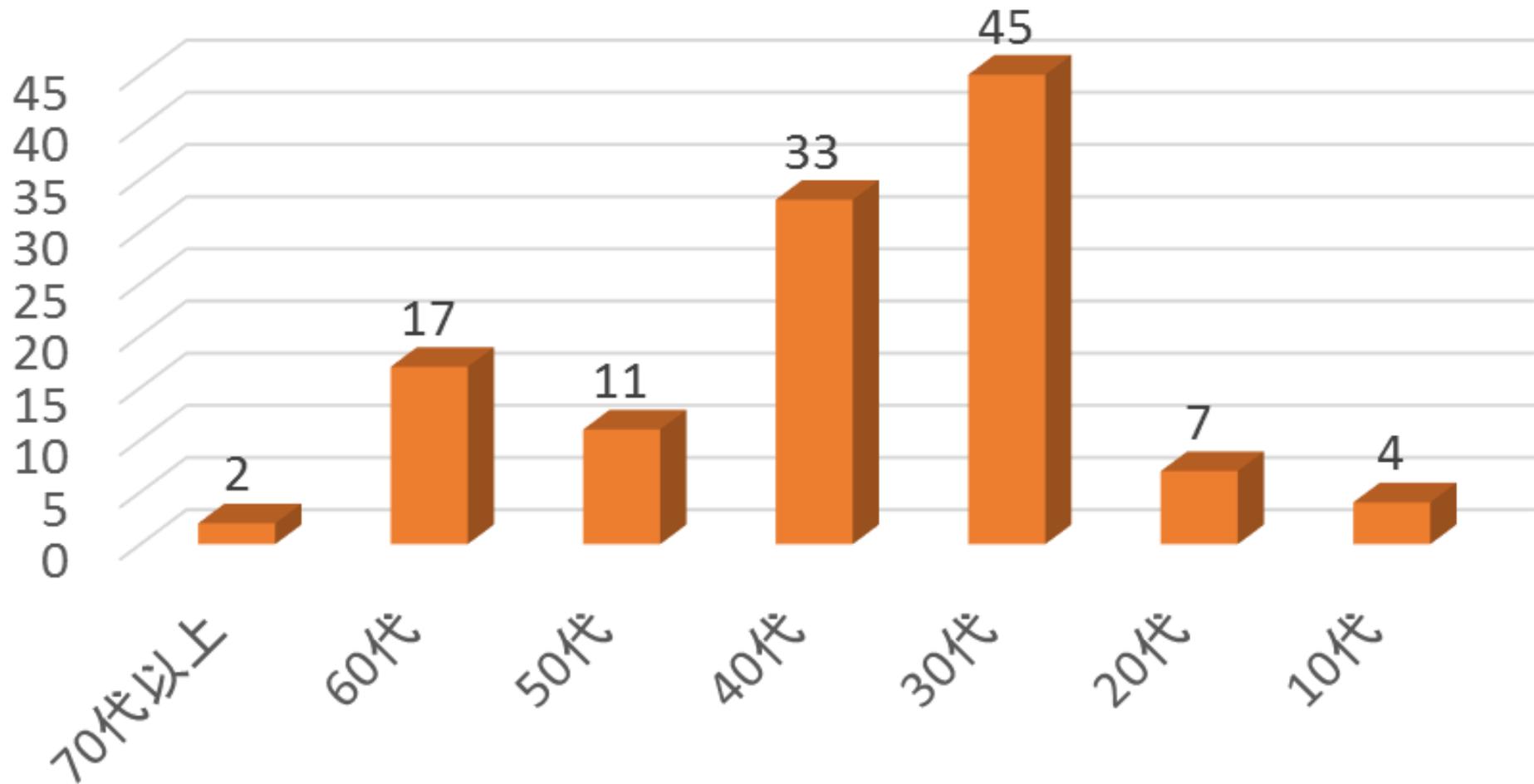
- 共有空間に私物を置かないようにしましょう。
共有空間に存在する備品の移動はしないようにしましょう
- 洗濯機使用時間：午前7時から午後10時までです。
- 風呂場使用時間：午前7時から午後12時までです。
テレビの視聴は、原則として午後10時までとします。
- ステップハウスの備品を使用する場合は、コーディネーターに伝えましょう。（記入のないものはご自由にお使いください。）
- 退去の際は、使用した部屋の掃除をし、備品、家具など元通りにして返却しましょう。
- 深夜、早朝は大きな音を立てたり大声を出したりしないようにしましょう。
- 屋内では、お酒を飲んだり、たばこを吸ったりしないようにしましょう。

分からないことがありましたら、遠慮なくコーディネーターに尋ねてください。



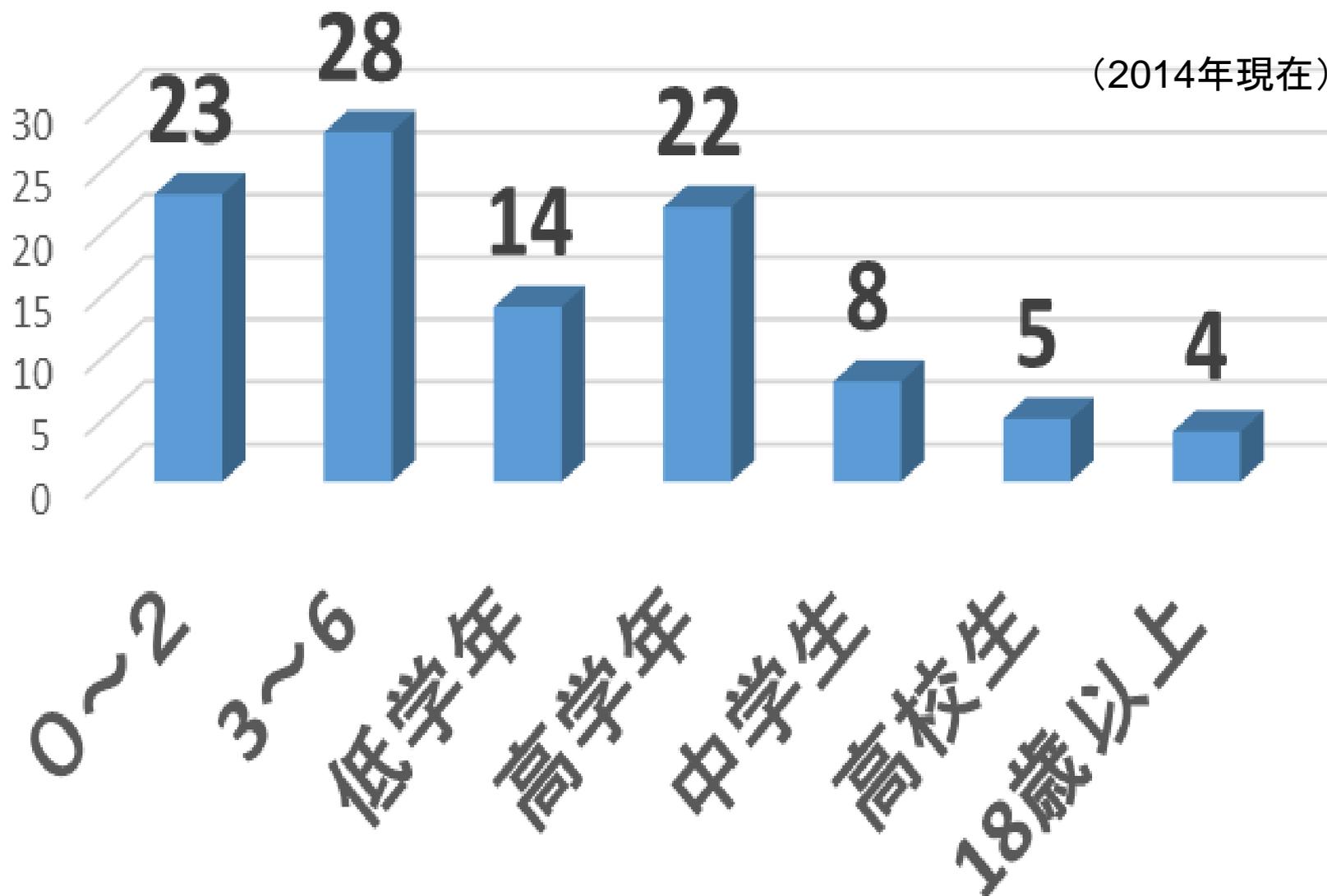
女性<119名・内単身58名> 年齢別

(2014年現在)



子ども<104名>年齢別

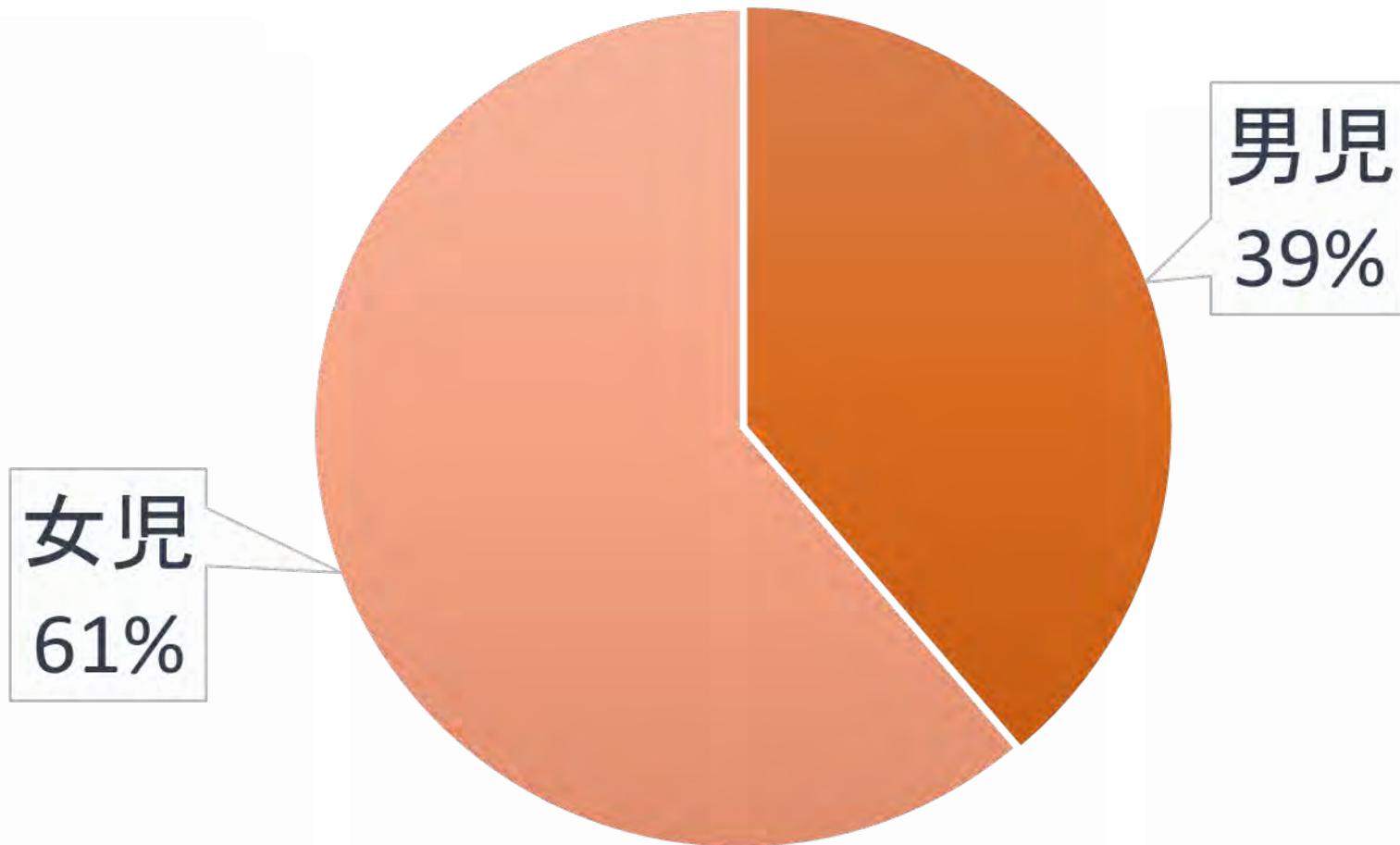
(2014年現在)





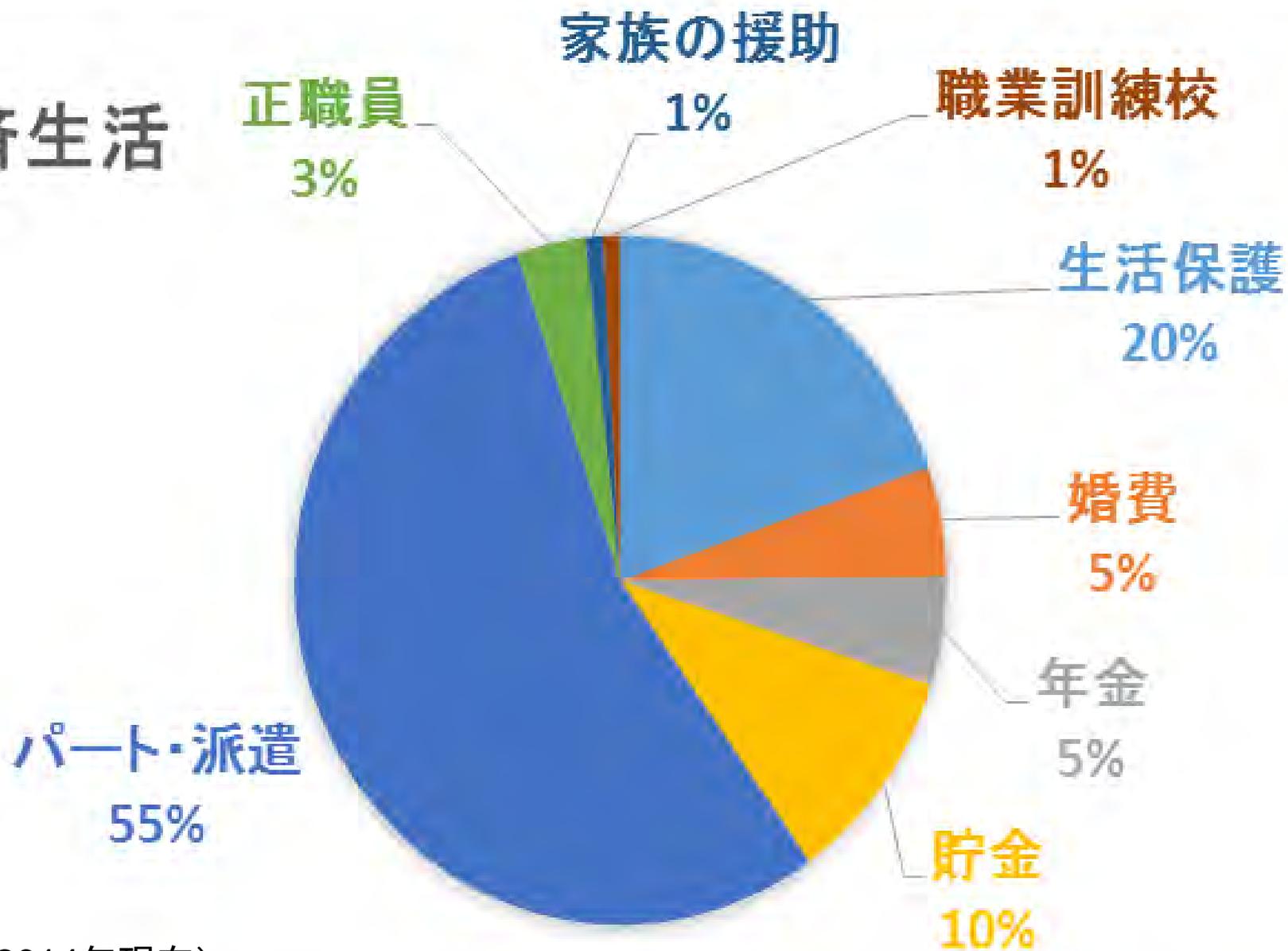
男女比

(2014年現在)



■ 男児 ■ 女児

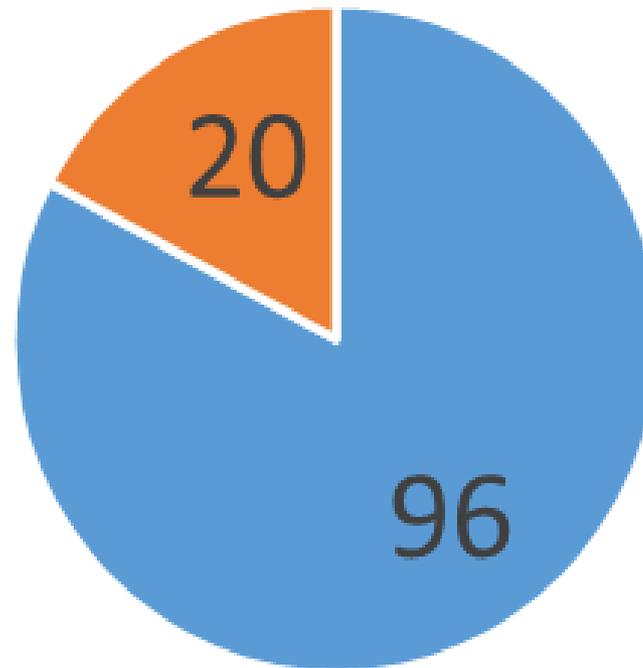
経済生活



(2014年現在)

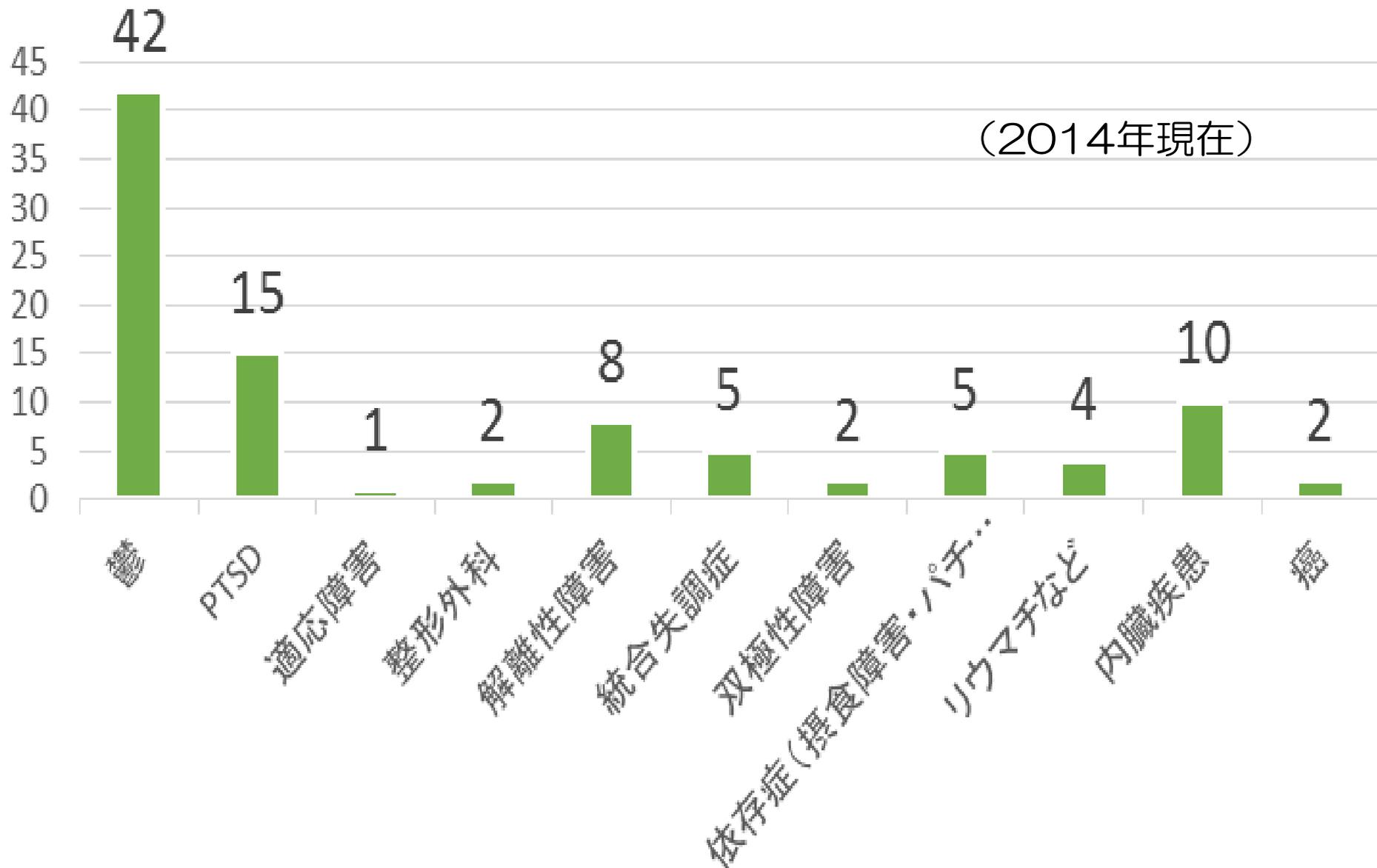
通院状況

(2014年現在)



■ 通院あり ■ 通院なし

入居女性の症状



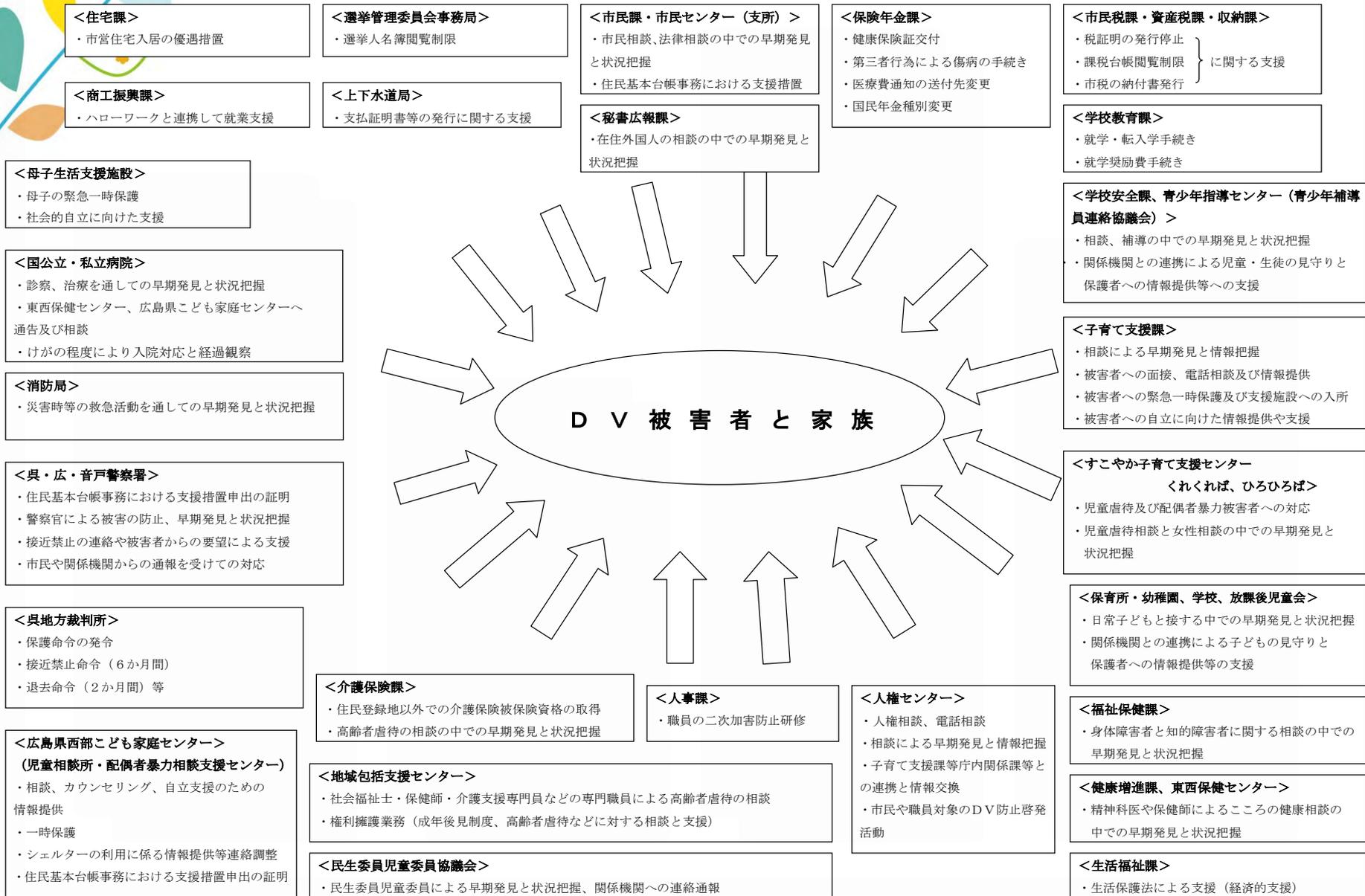


「安全・安心の確保」 関係機関との連携

- 場所の守秘
 - 匿名での居住
 - 警察：捜索願不受理届
 - 行政：住民票を動かさないOr住民票の支援措置
 - 学校・保育園：匿名での通学通所可能
 - 裁判所：保護命令など
 - 弁護士：加害者との安全な連絡窓口
 - 携帯：安全なものを持つ
 - 健康保健センター（乳児など）との連携
 - 子ども家庭支援センター、婦人相談員との連携 など
- ↓
- * 同行支援の必要性：WERCとの協働



DV被害者支援に関わる関係機関 ～こんなにたくさんの機関がDV被害者を支えています～（案）





民間シェルター/ステップハウスでできること

- 衣食住の確保：
 - 住むために保証人はいない
 - 住居費の軽減
 - フードバンクとの共働(米・食材の確保)
- 職場:ステップハウスから仕事に出かけることができる
- 学校・保育園:ステップハウスから通学できる
- 通院:ステップハウスから通院できる
- 支援につながる:グループへの参加、同行支援など
- * 調停・裁判の間の安全な居場所(親権をとりたい)
- * 「アリス基金」:アパート入居、子どもの学費などの無利子貸付金





Saya-Sayaの提供するプログラム①

- 地域の中で(DV予防・情報提供として)

- ・女性相談(電話・カウンセリング・セラピー)通年

- ・思春期・子ども

- ライン相談 (通年)

- 子どものセラピー (通年)

- 居場所・学習支援・食事提供(てらこやミモザ)

- 週一回十月二回

- ・地域の学校・公民館などへ

- チェンジプログラム(デートDV・スマホ依存など)

- ・地域の市民・支援者へ

- 各種DV防止講座・支援者養成講座

- ・早期発見として

- 子育て交流サロン

- ホームスタートなど家庭訪問型事業 *





Saya-Sayaの提供するプログラム②

- DVから離れた後に
 - ・シェルター/ステップハウス
 - ・女性相談(電話・カウンセリング・セラピー)通年
 - ・女性の自立支援プログラム燦<SUN>
 - ・母と子どもの同時並行心理教育プログラムびーらぶ<Beloved>
 - ・キャリアワークショップ<企業協力>
 - ・カフェ・ミモザ<就労支援として>
 - ・食料品・衣類提供<企業・フードバンク・社会福祉協議会などとの協力>
 - ・同行支援
 - ・びーらぶフォローアッププログラム
 - ・DV被害者支援養成講座・びーらぶインストラクター養成講座など
 - ・クリスマス会(フォローアップ・新たな情報提供・仲間とのつながり)





Saya-Sayaの提供するプログラム③

- 子ども・思春期向け
 - ・ライン相談 通年
 - ・子どものセラピー 通年
 - ・てらこやミモザ(居場所・学習支援・食事提供) 週一回十月二回
 - ・母と子どものワークショップ(宿泊型二泊三日・年一回)
 - ・思春期ワークショップ(宿泊型年二回)
 - ・おでかけプロジェクト(企業協力)
 - ・スポーツメンタリング(NPO協力)
 - ・ジュニア・アチーブメント(企業協力)キッズ・ファイナンス研修
 - ・キャリアデー:キッズ向けジョブ体験ワーク(企業協力)
- 家庭訪問型子育て支援事業「ポコ・ア・ポコ」





DV被害女性自立支援プロジェクト 燦(sun)の目的

DV等の暴力被害にあった女性たちが本来持っていた力
(自尊心)を回復し**燦々**と輝く太陽のように自分の道を
歩むためのプロジェクト

★DVは、女性と子どもへのマインドコントロール
解くのには時間がかかる



<ステップ1> 気づく・安全安心を得る

<ステップ2> 心身を癒やす

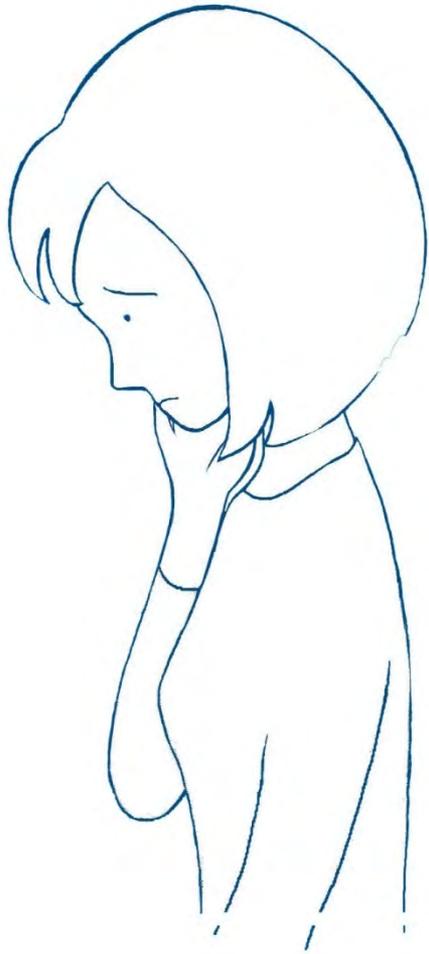
<ステップ3> 自分にできることを探そう

<ステップ4> 社会参加しながらメンテナンスしよう

★リーフレット参照



- ・家は出られたけどこの後、どうやって生活すればいいの……
- ・生活保護申請って1人で行けるかな……
- ・調停ってどうなんだろう……
私の味方になってくれの……
- ・家を出てから子どもたちが急に反抗的になっている
- ・毎日大きな声を出す自分がいやになる





▪ 疲れているけど、少しだけがんばってプログラム受けようかな…

▪ 朝起きても、いつもだったら寝てしまう

▪ 気功で覚えた呼吸と体を動かして自分の体に聞いてみよう

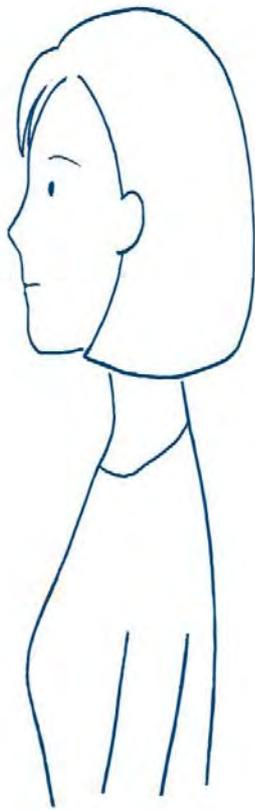
▪ 暴力って殴るだけではなかったんだ

私にされたことも暴力だったんだ

▪ こんなことになっているのは自分だけだと思っていた

▪ ほかの参加者の声を聞く事も私のチカラになる

▪ 声を出すこと、手を動かすとなんだか夢中になっている自分に気がつく





<ステップ3> 自分にできることを探そう

- 就労支援講座などに参加
- 対人関係研修講座
- 就労練習やボランティア活動などパート労働
- 支援者養成講座などへの参加
- 資格取得講座への参加





<ステップ4>

SST・実践編・メンテナンスグループなど

SST:ソーシャルスキルトレーニング

・社会参加をする中で、困難に感じ始めた気持ちをはき出しながら、
どのように対処すればよいかのスキルを学ぶ

メンテナンス

自分の心と身体の声を聞いて解決方法を見つけ出す

・疲れた心や身体をメンテナンスする
具体的な手当、運動法をまなぶ





- 私らしく生きることでもいいんだ
- 人と比べることはしなくていいんだ
- 困ったときは助けてもらおう
- 人が困っていたら私も助けてあげたい
- 私の経験を活かすことだってできる
- 幸せを感じることの大切さ
- 自分を大切にしていっていいんだ



燦プログラムより紹介

「喪失から再生」へ ～私の失ったもの～①

- ・仲の良かった親友、友人
- ・私の家族・同胞(きょうだい)
- ・長男(夫の元にいる)
- ・夫がいる家庭・子どもの父親・パートナー
- ・人間関係・美容院・主治医・
- ・地域・住み慣れた環境・庭のある家
- ・子どもの居場所(転校、転園)
- ・昔の写真やビデオ
- ・子どもの写真、アルバム
- ・大好きな洋服・アクセサリー
- ・ペット・・・などなど





「喪失から再生」へ ～私の得たもの～①

- ・自由な日々・自分で考え、選べること
- ・好きなことをしていい・安心感
- ・子どもとの時間 ・子どもの笑顔
- ・子どもと向き合えるようになった
- ・子どものストレスが減った
- ・みんなの笑顔・安心できる暮らし
- ・安全な家 ・安心できる夜の過ごし方
- ・暴力のない生活
- ・家が落ち着く場所になった
- ・自分の性格

(自分の本当の気持ち、忘れかけていた心を思い出すことができた)





「喪失から再生」へ ～私の得たもの～②

- ・自分で考え、それを指図されない
- ・自分で決断すること・決断する力
- ・自分で決断せざるを得ない環境
- ・自分の意見を表に出せること
- ・自分のことを出来ることはやってみようとする子ども達
の意思
- ・頑張らなくても良い場所





「喪失から再生」へ ～私の得たもの～③

- ・新たな目標、仕事 ・働くこと
- ・新たな子どもの居場所
- ・新たな友人
- ・DVの新たな知識
- ・子どもに暴力はいけないことを教えることができた
- ・お金 ・自由なお金
- ・生活の豊かさ ・ゆとりのある生活
- ・まともに食べられる生活
- ・3食とれるようになった
- ・開かれた窓



私の再生のものがたり①

今、私は、強い羽根で
↓ 太陽へ向かって飛んでいく



私はかごの中の鳥だった。
鳥かごには、監視カメラがついていて
私には自由はなかった

ある時、すきを見て、勇気を出して
鳥かごから出た

でも、私は長い間
言われるままにしていたので
自分がわからなかった

仲間に出会って、プログラムに参加して
やっと、私は自分の色がわかってきた

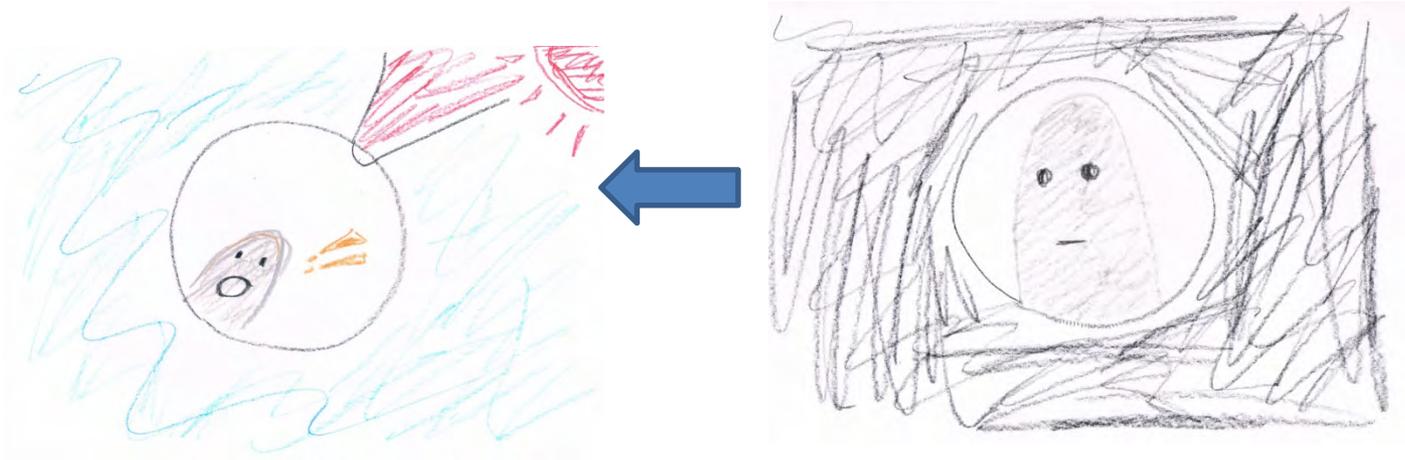




再生の物語②



私は、暗い土の中しかわからない、孤独なもぐらだった。
ある時、外の世界があることを知った。
仲間の呼び声で、勇気を出して外の世界へ出てみた。
そこにはたくさんの仲間がいて私を迎えてくれた
今は、光のある世界で仲間たちとあわせにくらしている

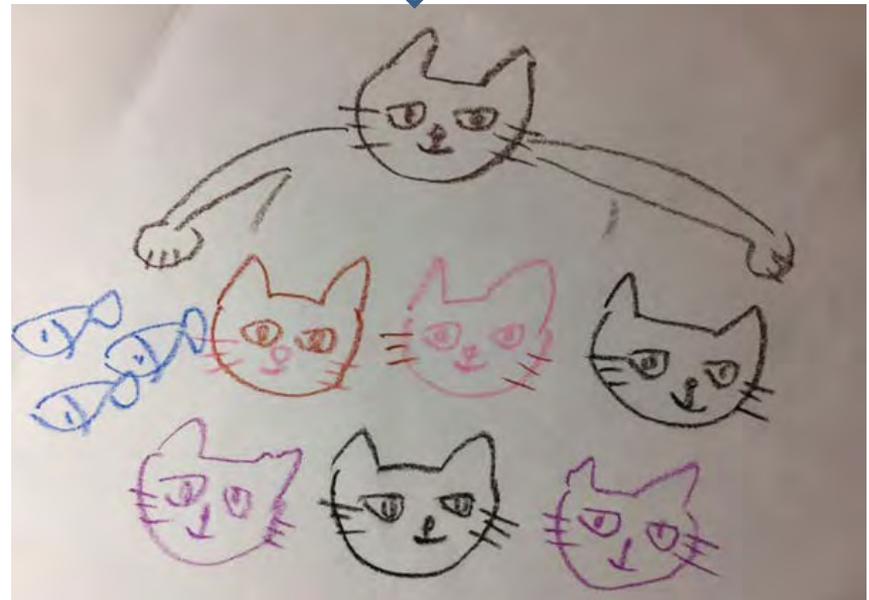
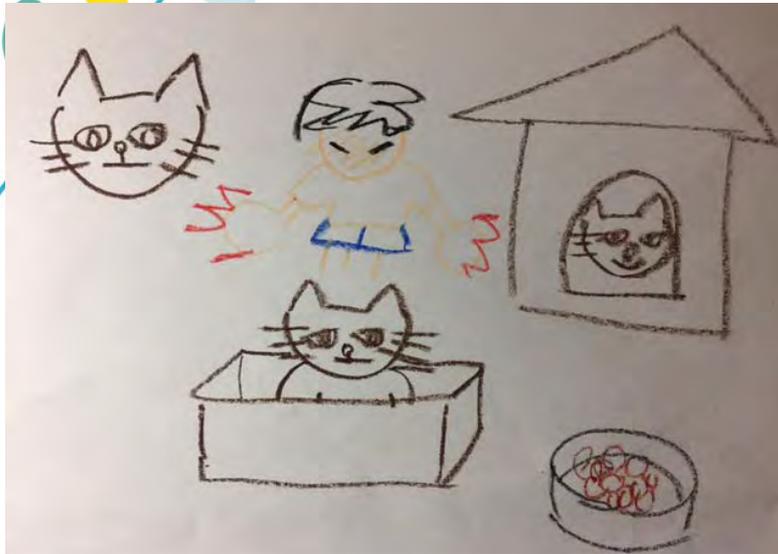




私の再生のものがたり ③

私は、小さい時から、親からも、友達からも夫からもいじめにあってきました。
たくさんの矢が刺さってもう動けなくなりました。
仲間たちが傷の手当をしてくれて、私は少しずつ元気になってきました。
本当の私は、みにくいアヒルではなくて、鳳凰だったのです！





私は、捨て猫でした。
ご主人に拾われて
家と餌はもらえるようになりました
でも、そのご主人は、気に入らないことがあると
暴力を振るって、私をいじめました。
ある時、私はもう餌をもらうのではなくて
自分で餌をとろうと思いやってみました
自分でとるのはたいへんだったけど、
だんだん上手になって、家を出て、仲間たちと
くらすようになりました。
餌がたくさんとれるようになったので、仲間たちにも
分けてあげられるようになり、幸せに暮らしました



新たな一歩へ

- 調停・裁判終了後、離婚成立・親権確保の後あたりに、住みたい地域にアパートを借りる
 - 公設住宅に移転できる
 - 母子生活支援施設への入居
 - 仕事のステップアップ→正職員へ
 - 地域社会での居場所づくり
 - 仲間の情報と、応援
 - 民間支援につながり続ける
 - **自分の体験を生かして、支援者となる【母も子どもも】**
- * **アリス基金**: 無利子での貸付制度(女性の資格取得・子どもの学費・アパートへの転居資金など)

